

110

111

「、？」

.....
?

…君も、

君も僕を、

捨てるのか？



捨てる……？

な、

何言っ
て元の世界
に帰る
んだろ？

今日帰ると
プエルから聞いた。

「お別れのあいさつ」
をしろってね。

何故
黙ってた？

……ごめん

誰にも
話してないのに……
……ナヒーダに心
読まれてたんだ……

ハッ、

それって
何に対しての
謝罪？

……帰ること、

誰にも言うつもり
無かったんだ。

きっと皆優しいから
……悲しませちやう

——勿論、
君も。

俺は元々
この世界の
人間じゃないし、

妹を見つけたら
すぐに帰る
つもりだった。

でもパイモンと
出会って——

色々な国を旅して、
沢山のひとと知り合って、
戦ったりもしたけど
毎日結構楽しくて……
居心地が良かったんだ。

ついうっかり
「この世界で一生を
過ごしてもいいか」
なんて
思ってしまったら程に。

だけど

俺は
帰らなきゃ。

やるべきことが
あるんだ。

俺にしか出来ない。
俺がやらなきゃ
いけないんだ。

だから――

本当……
自分勝手だね

……ッ、

今まで散々
振り回しておきながら

散々、
救っておきながら

君は………
平気で僕を、
突き放せるのか

突き放して
なんか

もういい

も...し...

た...く...さ...ん...だ

ク
ッ

ク
ッ

ちゅ

はあ…

ちゅ,

ちゅ

はあ…

くちゅ,

んちゅ…

ちゅ

んんっ

くち



くちゅ

ちゅっ

っはあ…
ね、ねえ

ちよつと
待って
ちめ



はあ…



ちゅっ

んんっ

んんっ

ちゅっ



君からは

もう

何も

聞きたくない

ド
メ



え……
そ、そんな
俺

黙って

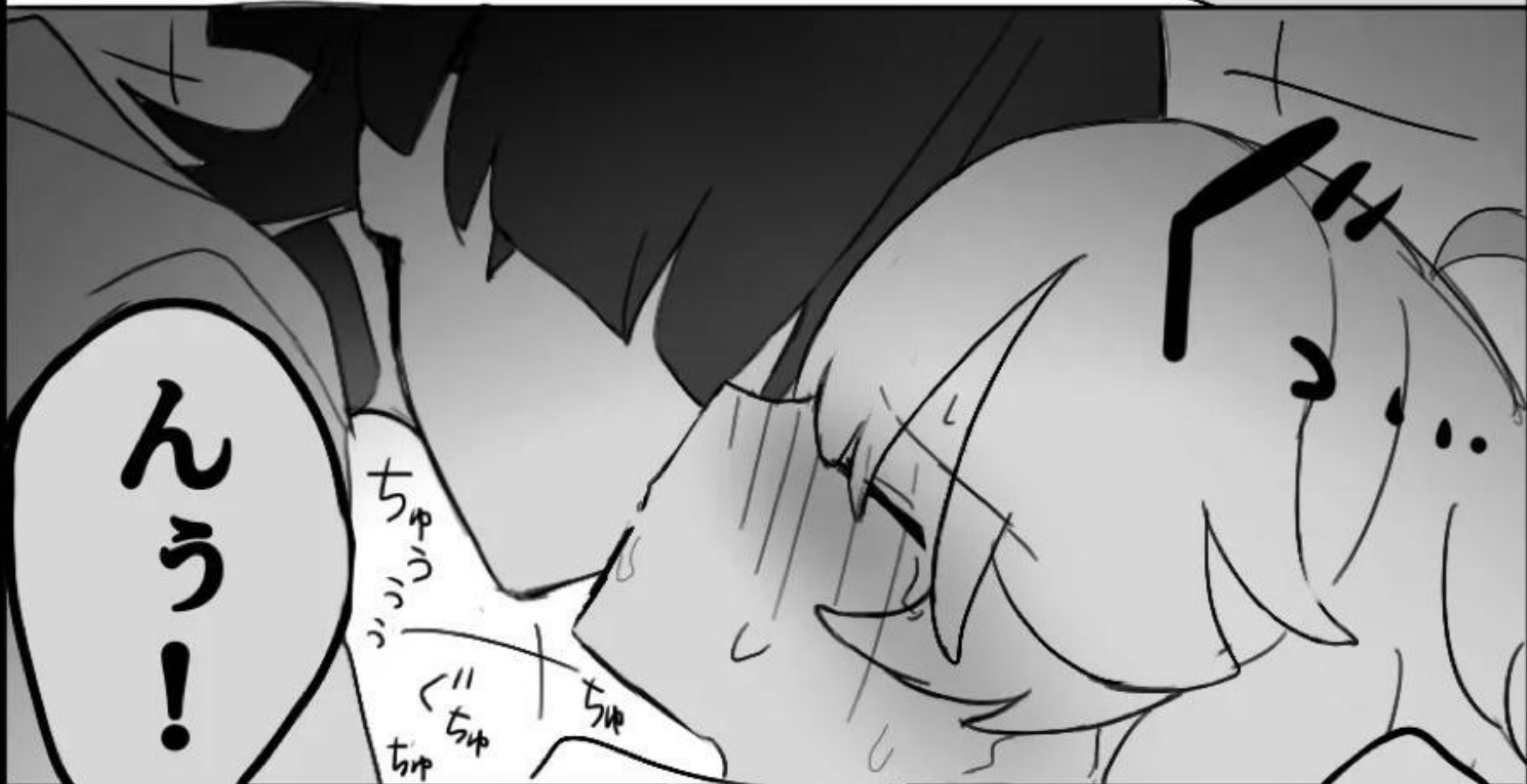
んっ
!!

ん……はあっ
ちよつと待

ぶ
ぶ
っ

ん……っ





はあっ

な……んでっ

おれにつっ、

こんなっ……

くくくく!!

……っ、
やだあ……っ

やめてっ
てば……!

ねえ、



…君が、

君が、思い出さ
せたくせに…

君が、僕を
生かしたくせに、

無責任
なんだよ…!!

今更
帰るとか

